

## 第216号

発行日：2017年9月1日

発行人：神立秀明

〒950-2172 新潟市西区内野上新町11810番地3

TEL 代表(025)264-5000

FAX(025)261-4430

在宅ケアセンターゆうばえ内



## 夕映えの会

## 住民の声

地域でささえあう

地域で子育て世代を支える  
子育ての今が一番いい時よ親子の居場所  
「虹の部屋」代表

主任児童委員

坪井美雪

子育て事情は、私たちの時代とは大きく様変わりしました。何しろ核家族の時代、実家にご両親は居てもお家においしいちゃん、おばあちゃんはいません。ママたちの子育ては、私たちとは違った不安や悩みがあるようです。

平成24年4月、「地域で子育て世代を支える場」をつくらうと民生委員・児童委員協議会が後援して「虹の部屋」がつくられました。会の要点は二つ、子育て中の親の孤立防止と親同士の仲間づくり・情報交換の場の提供です。就園前の乳幼児と親御さんを対象にしています。

「虹の部屋」は平成29年4月より、内野・五十嵐まちづくり協議会の福

祉部加入到活動しています。運営資金は新潟市地域活動補助金の交付で賄っています。

会場は内野まちづくりセンター2階保育室・多目的ルーム。毎月第一水曜日、午前10時から11時30分となっています。季節ごとの行事や遊び、絵本の読み聞かせのほか、西地域保健福祉センターの保健師さんが子どもの健康や病気について話してくれたり、子育て相談をおこなう回もあります。

現在15組ほどのママと赤ちゃんに、民児協、ボランティアあわせて18名(うち男性6名)がスタッフとして関わって活動しています。

「赤ちゃんをスタッフの方が抱っこしてくれるので普段ガマンさせてしまっている上の子と思いつきり遊んであげられる、本当に感謝です!」「虹の部屋」に遊びに来られたあるママの声です。

「赤ちゃんを抱っこできて幸せ!」私たちスタッフも、ここで元気をたくさん貰います。大きくなったお子さんが遊びに来てくれる時があります。「○○ちゃんだね!」と確認し合うのは、本当にスタッフ冥利に尽きます。

関わって嬉しいことがいっぱいありました。最初の会場、分庁舎でのことです。お掃除の方が「一番にお

掃除しておきました。寒いので暖房も入れて暖めておきましたよ」と声を掛けて下さいました。多くの方に支えられていることを実感しました。

私自身の子育てを考えると、子供が小さかった頃、「早く大きくならなかな」と思うことがたびたびありました。そんな時、おばあちゃん世代から「大変だと思ってる時が一番いいんだよ」と声を掛けられたものです。今その意味が解ります。

内野まちづくりセンターを訪れる機会が増え、子供たちが一人で或いはお友達と勉強する姿を目にします。夏休み中には小2男子とお母さんが一緒に勉強する姿もあり、良い施設ができたと一人感心しました。

児童委員制度は70周年を迎え、子供たちが健やかに育つことができる地域づくりに取り組むことを呼びかけてきました。その際、地域に有る資源を最大限活用し、「わが町ならでは」の取り組みを進める事が期待されています。

「虹の部屋」で、地域の人との触れ合いを通して親子の世界が広がることを念願しています。

「内野さくらロード」で桜を楽しみ、また内野市の賑わいを感じながら、「虹の部屋」にぜひ遊びに来て下さい。

五十嵐中島一丁目在住

# 利用者様も楽しむ 羊毛フェルト



癒し系の表情豊かなお人形



可愛いペンギンさん

白倉弘之様（平和台）から在宅ケアセンター階段廻りの装飾のお手伝いをしていただきました。ありがとうございます。羊毛フェルトで作った可愛い置物で飾っていただきました。白倉様のご両親は、かつてゆうばえの施設を長く利用されてきました。

住み慣れた自宅でヘルパーや看護などの訪問サービス、またデイサービスやケアプランなども利用されました。シヨートステイでのお泊りも利用され、「白倉さんに育ててもらいました」と、ゆうばえの職員の多くが語ります。

弘之様は今、シヨートステイに毎週金曜日、利用者様と一緒に

羊毛を使ったフェルトづくりをして下さっています。季節の飾り物やお正月飾りなど、羊毛フェルトは一味違った味わいを醸し出します。

またデイサービスセンターゆうばえが始めた新しい羊毛フェルトづくりメニューの講師となつていらっしゃる。

「私はね、羊毛フェルトでオリジナルを作っていますよ。初めてですが、とても楽しみです。」新中浜の竹内政様から笑顔で教えてもらいました。

地域の皆様、お気軽にゆうばえにいらして下さい。素敵な羊毛フェルトの置物がお待ちしております。

## 「健やかシニア」してます！ 第43回 戦死した兄に捧げるささやかな鎮魂 般若心経を写す

松田 隆 夫（新中浜）



昭和9年三島郡三島町に生まれました。年齢83歳となります。60歳で定年退職した後、第二の人生は別の会社で67歳まで送り、その後書道と表装を趣味として過ごしてきました。書道歴は20年くらいになるでしょうか。

私には五人の兄妹がいて、正月の二日は皆で書初めをするのが生家の習わしでした。長兄の書は抜きんでており、私の憧れであり誇りでした。しかし時代は戦争一色、戦況が次第に拡大した昭和17年に兄は出征、南方戦線に配属されました。駆逐艦の、対潜水艦水中測的員が任務でした。

兄は昭和19年6月、南太平洋で戦死しました。当時水兵長で24歳、私は10歳でした。兄は私たち兄妹に宛てて一通の遺言書を書き残しており、上官の計らいで特別に私たちの元に送られてきました。ただし、「戦死広報」が届いた後、開封すべしとなっていました。

兄を失った両親の嘆きと私たち兄妹の悲しみは筆舌に尽くせませんでした。兄直筆のその遺

言書は戦後、私の手元ですつと保管していました。私の戦後は、いわば兄の悔恨を胸に抱きながらの再出発とでも言えましょう。

「般若心経」は臨済宗・曹洞宗などで重要な経典とされ「何事にもとらわれない無の境地の教え」とされています。兄には到底及ばない私ではあります。般若心経の百日写経を2回おこないました。写経は心を空しくしなければできません。しかし兄の無念さを考える機会として有益でした。私は自分の筆による「般若心経」を表装しました。

中国で戦端を開き太平洋戦争へと拡大していったあの時代は狂気の時代でした。日本全体が、あたかも頭の先から指の先まで病気に罹ったようなものでした。私は軍国少年となり、時代の狂気が私の最愛の兄を奪っていった。

兄の遺言書を、私は自分の手で表装しようと考えています。それが私の責務と思います。南海に散った兄の想いを、子や孫たちに伝えねばと思います。特別機密保護法、安保法制、共謀罪など昨今の政治の動きはかつての過ちを繰り返すことにならないか、そんな危惧もあわせて…。



## 認知症の人とともに生きる

公益社団法人 認知症の人と家族の会  
新潟県支部 副代表 等々力 務

### 第八話 『駅での徘徊事故防止強化を』

介護家族の集いであった話です。認知症のご主人を介護されている奥様より「先日、夫が切符を買わずに電車に乗り、60km以上も遠く離れた駅で幸運にも保護されました。後に警察官が駅員にお願いして防犯映像を確認したところ、夫は二つの駅の改札をすり抜けていたことがわかりました」という話がありました。奥様も、大変な心配をされたのが伝わってきましたが、本人もどれだけ怖く辛い思いをしたことでしょうか。

駅員が他のお客さんの対応に気をとられて改札口に隙ができたことと、認知症の人は見た目では判別しにくいことも、この事態を招いた大きな要因だと思われます。駅の自動改札脇の事務室側の通路にも柵などを設置し、駅員による監視体制の強化などの再発防止策を強く望みます。認知症の人であっても柵があれば、行こうとはしなかったのではないのでしょうか。

この問題は、駅のシステムが機械化して職員が目が行き届かなくなったことも、要因の一つであると感じます。監視カメラの設置などで少ない職員配置を補っていることと思われそうですが、監視カメラではその場で声掛けや制止をすることはできません。先にも述べたように、どうしても事故後に問題を把握することとなってしまいます。このように、機械化によるデメリットがこのような形で現れた事例には、私も考えさせられました。

認知症の人の徘徊による行方不明事故で、歩いていくには不可能と思われるようなとんでもない場所で発見される報道を目にしました。それは、本人が電車に乗ったからなのではないのでしょうか。徘徊は、本人が遠方に行けば行くほど、発見は困難になります。本人の命と家族の人生に関わる重大な問題なので、事故防止の対策強化が必要です。

## 社会福祉法人法の改正をうけ財務諸表の積極的な公表をすすめています

ゆうえい会ホームページまたはWAM NET社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムで閲覧下さい



社会福祉法人 ゆうえい会  
理事長 久住 一男


本年4月より社会福祉法人法が改正されガバナンスの強化と社会福祉法人の経営の透明性が強く指導される内容となりました。戦後の社会福祉政策にも、画期をなす改革と言われていています。ゆうえい会におきましても、新潟市福祉監査課の指導を受けて、財務諸表・定款・役員等報酬基準を公表致しております。

スマホはじめパソコン等で簡単にアクセス、検索できますのでご覧になって下さい。

今後も地域の皆様と手を携え、在宅介護の充実と安心して暮らし続けられるまちづくりに努める所存です。

夕映えの会  
**日帰り旅行のご案内**

と き 10月15日(日)  
と ころ 美人の湯 (加茂市)  
参 加 費 3,000円  
募 集 人 員 29名



介護のお話と交流会 ふるってご参加下さい  
お問い合わせは高木まで ☎ 090-1386-4552

- 〔なすと南瓜の揚げ浸し〕  
なすに含まれるβカロテンには抗酸化作用があり、皮膚や目の機能維持に働きます。なすのβカロテンと南瓜のビタミンC、ビタミンEの相乗効果で、アンチエイジングには不可欠です。
- 〈2人分〉
- ・ なす 2本
  - ・ 南瓜 1/8個
  - ・ ししとう 8本
  - ・ 白ねぎ 1/4本
  - ・ だし汁 200〜250ml
  - ・ しょうゆ 大さじ2
  - ・ みりん・砂糖 大さじ1
  - ・ 酒 大さじ3
  - ・ 赤唐辛子 1本分
- 〈作り方〉
- ① 160℃の油に南瓜を入れ、薄く揚げ色がつくまで揚げる。
  - ② なすは170℃でしんなりするまで揚げ、ししとうはサツと油に通す。
  - ③ 揚げた南瓜・なす・ししとうを熱々のうちにAのたれに10分程度漬ける。
  - ④ 器に盛りつけ、漬けたたれをかけ、白髪ねぎをのせる。

大屋さんの  
**ご飯ですよ〜!**



ゆうえい会  
管理栄養士  
大屋 綾佳

2017 **9** 事業所からの お知らせ

◆ デイサービス

ご寄付でいただいたエアロバイクとルームランナーを使った自主トレスペースをつくります。9月、室内での歩行訓練がスタートします。

◆ 小規模多機能ゆうばえの家

■ 地域のお茶の間  
ギターと大正琴

とき 9月21日(木)

■ 「ぎんもくせい」が送る  
昭和歌謡

とき 9月30日(土)

◆ ショートステイゆうばえの里

三分間リハビリ、歩行訓練始めました。歩行訓練表を掲示しました。利用者さんに声をかけて下さい。

■ 敬老会

とき 9月18日(月)

◆ ケアハウスゆうばえの里

■ 熟年会

とき 9月21日(木)

■ 100均ツアー

とき 9月26日(火)

地域の皆さまのご来所をお待ちしています。一緒に楽しみましょう。

職員募集

介護職員 (常勤・非常勤)

・ ショートステイ

「ゆうばえの里」

常勤：夜勤のできる方

非常勤：日中の介護と送迎

勤務時間をご相談に応じます。

・ 小規模多機能

ゆうばえの家

常勤：夜勤のできる方

・ 厨房パート職員急募

委細面談

お問い合わせ

TEL 264-5000

吉田まで

お気軽に  
お問い合わせ  
下さい。



利用者さんと職員が元気になる施設づくり内覧会

下記の日程で、施設の新しい取り組みを紹介する内覧会を開催いたします。お気軽においで下さい。

開催日 9月8日(金)、9月11日(月)、9月12日(火)

時間 10時30分・12時30分・15時30分〈各日共通〉

デイサービス・ショートステイ・ゆうばえの家・ケアハウスまでご連絡下さい。

ゆうばえ歌壇

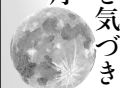
隙を見て家を抜け出し徘徊をつづける夫を探すすべなく



あざやかな花ホタホたと散りて悲しいのうぜんかずら



カーテンをもらえる光にふと気づきひとり眺める真夜中の月



今月の投稿者

五十嵐中島三丁目

茜峯様

連絡先一覧

ゆうえい会配食部

☎ 070-4453-5228

(担当：小島明日枝)

夕映えの会生活支援

☎ 070-4314-3980

(担当：神立秀明)



ご寄付お願いします

引き続きお願いします。

・牛乳紙パック

・エアロバイク

デイサービス

・古いタオル・シーツ

ショート・デイサービス

・電動ミシン

ケアハウス

編集後記

押し流すような雨が度々降って夏がどこかに行ったようです。夏の暑さが終わる処暑が過ぎて、白露を迎えます。「風がなく良く晴れた夜に大地が冷えて朝に露があらわれ草に降りた露が白く輝く」の意とか。秋本番に向けて、秋の入り口に立った感じです。「虹の部屋」代表の坪井美雪さん、地域のひととの触れ合いを通して若い親子の世界が広がってほしいと。至言と感じました。書と表装を趣味として楽しむ松田隆夫さんから「般若心経」を教えていただきました。お兄さんの遺言書の表装が完成したら今一度見せて下さいともお願いしました。支え合ってつくる地域の一端を少しでもご紹介できたでしょうか。(M記)